



山 口 研 究 会



1 教授紹介



山口 光恒（やまぐち みつつね）教授

職位：専任教授

略歴：1939年 神奈川県生まれ

1962年 慶應義塾大学経済学部卒業

1962年 東京海上火災保険株式会社入社
理事を経て1996年から現職。

2 当研究会の活動と特徴

当研究会の研究対象は環境経済学です。現在各国で議論されている環境問題に対して、主として経済学的観点からメスを入れて分析を行い、解決策を模索して行きます。そもそも環境問題は経済学と密接な関係にあって、例えば環境破壊のメカニズムも経済学で説明のできるものであり、また環境対策としてあげられる環境税や補助金なども経済学を使った分析を通して成立するものであります。経済学を通さない解決策は意味をなさないものになるでしょう。ただ、環境問題の解決には他の学問分野による多角的な観点からの総合的な取り組みも必要とされるので、経済学以外、即ち法学、商学、政治学、工学、倫理学などの観点からのアプローチも含めて取り組んでいきます。そのため、経済学だけでなく他の学問分野の知識の習得が肝要となります。また、知識の習得という点では、環境問題の現状とそれに対して施される対策などに関する知識も必須です。現状分析のためには当然であり、数多くの日本語や英語の文献を読みこなし、また企業や機関にヒアリング調査に行くことによって相当量の情報を得ることになります。そして、この得た知識を踏まえて、分析と解決策の提言を行っていきます。しかも、ただの理想的な解決策で終わることなく、実現可能である策を打ち出していくことを目的としていますので、論理的な思考能力を要します。単なる知識の習得に留まらず、自分の頭で考えることが基本姿勢となっています。

具体的に研究対象となる環境問題は、主に地球温暖化問題と廃棄物問題です。共に昨今各国共通の、早急な解決を余儀なくされた問題であり、議論の尽きるところはありません。研究テーマも容易に見つかることでしょう。

当研究会の具体的な活動内容としては、まず毎回の本ゼミでは、文献輪読後の発表とディスカッション、各パートによる発表とディスカッション、実際に環境問題に携わってらっしゃる関係者の方々を招待しての聴講などがあります。本ゼミ以外の活動では各パートの研究活動、フィールドワーク（現地調査）、同志社大学・中国の清華大学とのインゼミなどが挙げられます。

3 研究会 PR

山口研究会は、環境問題に対し問題意識を持ち、真剣に地球の将来のビジョンを見据えて研究活動に取り組んでいます。2年間の活動によって様々な学問の知識や環境に関する知識、論理的思考能力、プレゼンテーション能力、英語力など、得られるものは相当大きいと思われます。また先生が企業出身の方でいらっしゃるの、礼儀作法などの社会人としての振る舞い方も学ぶことができるでしょう。さらに先生は多くの国際・国内会議に出席されていますので、環境問題の最新情報や興味深いお話を伺うこともできるでしょう。卒業する頃には、様々な意味での高い能力とゆるぎない自信が身につく事は間違いありません。

また、研究会の雰囲気としては、とてもアットホームで、3, 4年生共に仲がすごく良いといえます。厳しい研究活動を共に乗り越え、飲み会で楽しく盛り上がることを通して、生涯に亘る良き仲間、友が得られることでしょう。そしてよき友がいるからこそ多くの困難を克服していくことができる、とも言えるでしょう。

環境問題に関心があり、やる気のある方、お待ちしております。

4 ゼミ代表者連絡先

当研究会では、基本的に全部メールで連絡を取るようになっています。もし、ご質問などがありましたら、メールのほうでお願いします。

外ゼミ代表：瀬川 晋	susumu@sky.biglobe.ne.jp
内ゼミ代表：新井 紫織	Shiori406@aol.com
入ゼミ代表：前田 陽一	maed042@attglobal.net
細山田 海人	kaito-blue@mta.biglobe.ne.jp

5 当研究会の研究内容、入ゼミに関する情報などを、さらに詳しく知りたい方は、教授・当研究会のホームページをご覧ください。

教授ホームページ <http://www.econ.keio.ac.jp/staff/myamagu/>

研究会ホームページ <http://seminar.econ.keio.ac.jp/yamaguchi/>

